

科目名	化学基礎 (R4 課程)			単位数	2 単位
教材	教科書：『新編 化学基礎』2・東書・化基 702			添削指導 (レポート)	全 6 回
	副教材：なし			面接指導 (スクーリング)	8 時間
学習評価 (観点別評価)		添削指導	面接指導	定期試験	放送 ※希望者のみ (東京書籍インターネット講座)
	知識・技能	60%		40%	減免可能 4 時間まで
	思考・判断・表現	60%		40%	定期試験
主体的態度	80%	20%	0%	前期 1 回 後期 1 回	
単位の認定	①レポート：規定回数のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング：規定回数の全ての回に出席すること。 ③定期試験：前期試験、後期試験を受けること。 ④評定は、観点別評価をふまえ総合的に判断する。達成状況と評定の関係は次の通りとする。 〔～2割：1、2割～4割：2、4割～7割：3、7割～9割：4、9割～：5〕				

指導計画

科目の目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
単元・学習内容	添削指導 (レポート)	面接指導 (スクーリング)	放送 (東京書籍インターネット講座)
1 編 化学と人間生活 1 章 化学とは何か 2 章 物質の成分と構成元素 1 節 物質の成分 2 節 物質の構成元素 3 節 物質の三態	<b>【第 1 回】</b> ・ 1 編 1 章 ・ 1 編 2 章	<b>【第 1 回】</b> ・ 1 編 1 章 ・ 1 編 2 章 ※ 2 章 1 節を中心に指導	①教科書の内容に対応する動画をすべて視聴すること。 ②単元テストの問題にすべて取り組むこと。
2 編 物質の構成 1 章 原子の構造と元素の周期表 1 節 元素の構造 2 節 電子配置と周期表 2 章 化学結合 1 節 イオンとイオン結合 2 節 分子と共有結合 3 節 金属と金属結合 4 節 化学結合と物質の分類	<b>【第 2 回】</b> ・ 2 編 1 章 <b>【第 3 回】</b> ・ 2 編 2 章	<b>【第 2 回】</b> ・ 2 編 1 章 ※ 1 章 2 節を中心に指導 <b>【第 3 回】</b> ・ 2 編 2 章 1 節 ※ 2 章 1 節を中心に指導 <b>【第 4 回】</b> ・ 2 編 2 章 2 節～4 節 ※ 2 章 2 節を中心に指導	①②を完了した場合、面接指導 (スクーリング) の出席回数を最大で 4 時間減免できる。
3 編 物質の変化 1 章 物質と化学反応式 1 節 原子量・分子量・式量 2 節 物質質量 3 節 溶液の濃度 4 節 化学反応の表し方 5 節 化学反応式の表す量的関係 2 章 酸と塩基 1 節 酸と塩基	<b>【第 4 回】</b> ・ 3 編 1 章 <b>【第 5 回】</b> ・ 3 編 2 章 <b>【第 6 回】</b> ・ 3 編 3 章 ・ 終章	<b>【第 5 回】</b> ・ 3 編 1 章 1 節～2 節 ※ 1 章 2 節を中心に指導 <b>【第 6 回】</b> ・ 3 編 1 章 3 節～5 節 ※ 1 章 4 節を中心に指導 <b>【第 7 回】</b> ・ 3 編 2 章 1 節～4 節 ※ 2 章 4 節を中心に指導	

<p>2節 水素イオン濃度とpH                  3節 中和反応と塩の生成                  4節 中和滴定                  3章 酸化還元反応                  1節 酸化と還元                  2節 酸化剤と還元剤                  3節 金属の酸化還元反応                  4節 酸化還元反応の応用                  終章 化学が拓く世界</p>		<p><b>【第8回】</b>                  ・ 3編3章1節～4節                  ・ 3編終章                  ※3章2節を中心に指導</p>	
--	--	---	--